

ふじわら たけし
藤原 孟 議員

委託業務にランク制度等の 導入に入札制度改善をすべき

町は、コスト削減を念頭に入札積算を行っているが、安ければ良いという風潮の中で一番の犠牲者は働く現場の人です。現場の質の低下が起きるのは当然の結果である。対策として建設工事と同様にランク制を導入し改善をすべきである。

- ① 野球場内野整備工事の発注は、野球場の機能が損なうような整備状況が発生したのか、コスト削減のために整備の設計基準を下げた結果なのか、理由を伺う。
また、施設は各々維持に必要な技能や経験は異なるので、きめこまかな指名基準があるのか。同時に、事業協同組合の指名参加の基準について伺う。
- ② ゴミ収集運搬は、特殊機能を保有することが必須条件である。町は事業費削減のため、運搬体制の見直しを図ることの説明を、ゴミゼロ委員会等に行っているのか伺う。
委託業務にランク制や総合評価制度を導入し、指名の入口で厳選された業者が規模に応じて指名され、業務を確実に遂行させるべきである。多額な設備投資を円滑におこなうために、契約期間の年数を10年間に変更ができないか伺う。

教育長

① 今回の整備工事は、

内野グラウンドの表面が不均一になってきたため、その高さを調査し、グラウンド専用土の搬入、転圧、表面仕上げをしたものであり、例年、実施している芝管理委託業務とは内容が異なるものである。

きめ細かい業者指名選定基準は、芝の管理は運搬業務などと違い、特殊な作業が必要ではなく、一般的な作業の範疇であるため、業者の過去の実績や業務内容などを勘案して選定している。

事業協同組合に対する指名参加の基準は特にないが、事業組合員個々としての過去の実績や業務の経験なども踏まえて検討する必要があると考えている。

町長 ② ゴミゼロ委員会などで得た情報、他市町村の事例及び本町の実情などを勘案した上で2人体制としており、そのことは、他市町村との各種情報交換などで知らせている。

委託業務については、建設業法の対象とはならず、同法に定める基準は適用できないため、評定のための基準を独自に設ける必要があることから、現在のところ、委託業務にランク制を取り入れることは難しいものと考えている。

契約期間については、業務に係る経費を総合的に判断して契約期間を決定すべきものと考えており、平成25年度からの新たな契約の締結に向け、検討を行っている。

再質問

① 事業協同組合の編成は、企業防衛対策として有効であるから、業者に導入指導を行う考えはないか。
答 思類の道路管理など組合方式かどうかと聞いているものもあることから、業者の方と話をしながら進めていきたいと考えている。

② ゴミ収集運搬業務にランク制の導入を進め、町民生活に密接に関わる仕事であるから、経験の豊かな信頼性の高い業者で、指名を行うべきである。

答 平成25年の契約変更に向けて、十分内部で研究していきたい。

